

第 6 回伊勢市上下水道事業審議会 議事録要旨

令和 2 年 2 月 20 日

第6回伊勢市上下水道事業審議会 議事録要旨

日時 令和2年2月20日(木) 14:00~15:15
場所 伊勢市生涯学習センター いせトピア 3階 研修室

委員出席者 木本 凱夫 齋藤 平 松原智恵蔵 杉山 謙三
高橋 克彦 奥村 幸恵 杉田 英男 馬瀬 清美
田岡 光生 大西 隆

委員欠席者 竜田 和代 中西好一郎

市出席者 市長 鈴木 健一

事務局	上下水道部長	中村 高弘
	上下水道部次長	前村 俊和
	上下水道総務課長	中山 誠
	料金課長	酒井 幸久
	上水道課長	濱口 新
	下水道建設課長	松田 康
	下水道施設管理課長	森本 真人
	上水道課副参事(建設係長)	米本 武俊
	上下水道総務課経理係長	辻村 貴文
	上下水道総務課経理係主事	早川 真也
	料金課上下水道料金係長	常光 弘康
	料金課下水道負担金係長	松井 裕一
	下水道建設課主幹(下水道第一係長)	川面 和彦
	下水道建設課主幹(雨水施設整備係長)	岡井 孝浩
	下水道建設課下水道第二係長	本田 慶一
	下水道建設課下水道第一係主事	北村 智
	下水道建設課下水道第一係	服部 達哉
	下水道施設管理課施設維持係長	北村 功郎
	下水道施設管理課排水設備係長	黒瀬 尚人
	環境課環境対策係長	山本 佳典
	上下水道総務課庶務係長	下村 真司
	上下水道総務課庶務係	牧 祐介

議事録署名 杉山 謙三 委員 松原 智恵蔵 委員

傍聴者 0名

議 題 (1) 流域関連伊勢市公共下水道全体計画の見直しについて(諮問)
(2) 流域関連伊勢市公共下水道事業評価について

審議状況

○開会挨拶 市長

○司会進行 事務局

○議事進行 木本会長

○報告事項 事務局より、前回の審議会から本日までの間に各所属団体のご事情により、社会福祉協議会の曾根章江委員が平成31年3月31日付、伊勢商工会議所の岩崎良文委員が令和元年11月1日付で提出された辞職願を受理。後任に社会福祉協議会から馬瀬清美様を平成31年4月1日付で委嘱。伊勢商工会議所は選任中で現在は欠員。

○第1号議案 流域関連伊勢市公共下水道全体計画の見直しについて

下水道建設課から、流域関連伊勢市公共下水道全体計画の見直しについて、説明。

以下、流域関連伊勢市公共下水道全体計画の見直しに関する質疑応答

質 員：資料1-1の7ページ(1)～(9)の区域の合併処理浄化槽に移行している割合はどれくらいか。

答 事務局：現在約41%の家屋が合併処理浄化槽へ移行している。

質 員：東豊浜地区はこれからの計画で下水道が来るのか。

答 事務局：東豊浜地区については、平成20年度の下水道区域の検討時、既に下水道区域から外した区域であり、前回検討時からその地域の社会情勢の変化もないことから、今回も検討区域から外している。

質 員：合併処理浄化槽を導入する際の助成について教えてほしい。

答 事務局：個人が浄化槽を設置する際に補助金を出しているほか、大きな家では配管費用も増えることから、制度の見直しを現在進めている。

意委員：人口が減少し、税収も減少する中で、身の丈にあった下水道区域の見直しは必要であるが、しっかりと議論をした上で、各地域へ納得のできる分かりやすい説明をしてもらえたらと思う。また、しっかりとした維持管理体制も考えてもらえたらと思う。

意委員：現在の計画当初下水道人口普及率の目標数値と現在数値がどのように違うか教えてほしい。

答事務局：下水道第5期事業を進める中で経営戦略を策定しており、普及率の目標値として平成30年度末で54.1%としていたが、現状としては、53.7%となっている。

質委員：資料1の4ページ判定結果表について、「×」2つあるところで下水道区域か合併処理浄化槽で分かれていることへの理由を説明してほしい。

答事務局：今回は国のマニュアルに沿った形で経済性を重視した判断をしている。

意委員：今後の人口の見直しによっては、今回下水道とした区域を見直すことも行ってもらえたらと思う。下水道整備をしたが利用者がいなくては、元も子もないため十分に議論し、5年先ではなく、もっと先を見据えて取り組んでももらえたらと思う。

質委員：将来人口は何年後の人口を想定しているのか。また、この年数とした根拠は何か。

答事務局：平成27年度を基準として、令和22年度の人口に対して比較検討を行っている。根拠については、上位計画である三重県の流域総合計画の基準年度が、令和22年度であるため。

意委員：市の他部署では、移住施策が行われているが、住環境は大きな要因だと思うので、その観点も計画に取り入れてもらえたらと思う。

答事務局：まずは20年後を目指して進めていく。今回は、事業の枠組みという大きなお話をお願いしている中で、委員の方から様々な意見をいただいている。土地の利用状況、将来の状況、人口動向やまちづくりの方向性等も勘案して、今後下水道区域の復活も含めて、検討して進めていきたい。

意委員：高齢者への負担が厳しいように感じる。

答事務局：下水道の排水設備を接続する際、高齢者世帯等に向けた助成金制度を設けており、説明会等で周知を行っている。今後も引き続き、制度の周知に努めていきたい。

審議結果：[流域関連伊勢市公共下水道全体計画の見直しについては、これを妥当と認める。]という答申内容に決定。

後日、木本会長と杉山副会長で市長へ答申を行う。

○第2号議案 流域関連伊勢市公共下水道事業評価について

下水道建設課から、流域関連伊勢市公共下水道事業評価について、説明。

以下、流域関連伊勢市公共下水道事業評価に対しての意見徴取、質疑応答

質 員：事業評価の最後が断定的になっているが、間違いがないことから断定しているとの理解でよいか。

答 事務局：検証の結果、数値がはっきりとでたので断定している。

意 員：事業評価の最後の一文について、基準年度や目標年度などもう少し具体的に表記してほしい。

意見徴取結果：事業評価については、国へ報告をする際に、より具体的に記述することとする。

○挨拶 中村上下水道部長

○その他 事務局より説明及び報告事項

- ・次期審議会の日程、案件、事務手続き等の説明。
- ・簡易水道事業の水道事業への統合及び令和2年度から新たな財源の確保として国の補助金を活用していく旨の報告。

上記のとおり会議の経過を記載して、その相違ないことを証するため、ここに署名する。

令和2年2月20日

議 長 _____ 印

署 名 委 員 _____ 印

署 名 委 員 _____ 印